平成25年10月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年６月13日

上場会社名　　株式会社オハラ　　上場取引所　東
コード番号　　5218　　ＵＲＬ　http://www.ohara-inc.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）齋藤　弘和
問合せ先責任者　（役職名）常務取締役　経営管理担当　（氏名）中島　隆　　ＴＥＬ　042（772）2101
四半期報告書提出予定日　　平成25年６月14日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　有　　（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成25年10月期第２四半期の連結業績（平成24年11月１日～平成25年４月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年10月期第２四半期	12,566	△16.9	△717	－	386	△71.0	412	△57.6
24年10月期第２四半期	15,121	15.8	906	361.2	1,333	320.3	972	379.2

（注）包括利益　25年10月期第２四半期　3,669百万円（110.0%）　24年10月期第２四半期　1,747百万円（310.4%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年10月期第２四半期	16.97	－
24年10月期第２四半期	39.98	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年10月期第２四半期	58,694	43,029	72.6	1,752.24
24年10月期	57,015	39,877	69.3	1,625.18

（参考）自己資本　25年10月期第２四半期　42,624百万円　24年10月期　39,533百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年10月期	－	0.00	－	20.00	20.00
25年10月期	－	0.00			
25年10月期（予想）			－	20.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成25年10月期の連結業績予想（平成24年11月１日～平成25年10月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	△14.7	0	△100.0	1,000	△34.1	600	26.2	24.67

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無
　　新規　　－　社、除外　　－　社

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：	有
②　①以外の会計方針の変更	：	無
③　会計上の見積りの変更	：	有
④　修正再表示	：	無

（注）第１四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料３ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年10月期２Ｑ	25,450,000株	24年10月期	25,450,000株
②　期末自己株式数	25年10月期２Ｑ	1,124,474株	24年10月期	1,124,474株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年10月期２Ｑ	24,325,526株	24年10月期２Ｑ	24,325,610株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

　この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

　本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10
（６）セグメント情報等 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間における世界経済は、一部に持ち直しの兆候が見られたものの、総じて低調に推移しました。アジア地域では、ＡＳＥＡＮ諸国は内需を中心として堅調に推移しましたが、中国では、国内消費は回復傾向にあるものの、成長率は鈍化しました。米国では、景気は緩やかな回復が続きましたが、欧州では、南欧諸国の債務問題への不安から景気回復感に乏しい状況が続きました。わが国経済は、円高是正や各種金融政策により景況感が改善し、景気は緩やかな持ち直しが見られました。

当社グループが関連する光事業の関連機器市場では、デジタルカメラは、コンパクトタイプの市場縮小が続きましたが、レンズ交換式タイプや交換レンズの市場は堅調に推移しました。エレクトロニクス関連機器市場では、ハードディスクドライブは、ノートパソコン市場が停滞し需要が低迷しました。また、露光装置市場では、半導体向けは、設備投資の抑制に伴い低調に推移した一方、液晶露光装置向けは、中小型パネル向けに回復の動きが見られました。

このような状況のもと、当第２四半期連結累計期間の業績は、次のとおりとなりました。

売上高は、デジタルカメラ向け光学機器用レンズ材の需要が、在庫調整の長期化などにより減少したほか、ハードディスク用ガラス基板材の需要低迷が続いたことから、12,566百万円（前年同期比16.9％減）となりました。

損益面では、光学機器用レンズ材やハードディスク用ガラス基板材の需要減少に伴い、工場稼働率が低水準で推移したことなどから、売上総利益は1,863百万円（同50.2％減）となりました。販売費及び一般管理費は、研究開発費や運搬費など一部経費が減少したことにより、2,581百万円（同8.9％減）となりましたが、営業損失を717百万円（前年同期は906百万円の営業利益）計上する結果となりました。経常利益は、為替差益を計上したことなどにより、386百万円（前年同期比71.0％減）となりました。

四半期純利益は、投資有価証券売却益を計上したことなどにより、412百万円（同57.6％減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①　光事業

当事業の主力製品であります光学プレス品は、顧客在庫調整の長期化などにより販売が減少しました。また、光学ブロック品も加工メーカー向けの販売が減少しました。この結果、当事業の売上高は9,672百万円（前年同期比13.1％減）、営業損失は202百万円（前年同期は974百万円の営業利益）となりました。

②　エレクトロニクス事業

ハードディスク用ガラス基板材は、新規開発品の拡販に努めたものの、市場が停滞する中、厳しい状況が続きました。また、半導体露光装置向け高均質光学ガラスも需要が減少しました。一方、極低膨張ガラスセラミックスは、特殊用途の引き合い増加により堅調に推移し、石英ガラスも液晶用フォトマスク基板向けの伸長により堅調に推移しました。

これらの結果、当事業の売上高は2,894百万円（前年同期比27.5％減）、営業損失は515百万円（前年同期は68百万円の営業損失）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末における総資産は58,694百万円（前連結会計年度末比3.0％増）となりました。これは主に、台湾への光学ガラス生産拠点新設に伴い、機械装置及び運搬具が増加したほか、受取手形及び売掛金の回収などにより、現金及び預金の増加があったことなどによるものであります。

流動資産の残高は28,054百万円（同3.7％減）となりました。これは、現金及び預金が増加したものの、受取手形及び売掛金が減少したほか、たな卸資産のうち、原材料及び貯蔵品が減少したことなどによるものであります。

固定資産の残高は30,640百万円（同9.9％増）となりました。これは、有形固定資産において、機械装置及び運搬具や建設仮勘定が増加したほか、投資その他の資産において、投資有価証券が時価評価により増加したことなどが主な要因であります。

流動負債の残高は10,411百万円（同10.3％減）となりました。これは、支払手形及び買掛金が減少したことなどが主な要因であります。

固定負債の残高は5,253百万円（同5.0％減）となりました。これは、長期借入金が減少したことなどが主な要因であります。

当第２四半期連結会計期間末における純資産の残高は43,029百万円（同7.9％増）となりました。これは、剰余金の配当などにより、利益剰余金が減少したものの、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定が増加したことなどが主な要因であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの通期業績予想につきましては、当第２四半期連結累計期間の状況を踏まえ、平成25年３月14日公表の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては 本日発表の「第２四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（有形固定資産の減価償却の変更）

当社及び国内連結子会社は、第１四半期連結会計期間より、取得した有形固定資産について、従来から採用している減価償却の方法を、法人税法の改正に伴い、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第２四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年10月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年４月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,408,097	8,768,285
受取手形及び売掛金	8,865,674	7,043,584
有価証券	8,621	8,623
商品及び製品	1,991,437	1,968,988
仕掛品	5,425,063	5,520,106
原材料及び貯蔵品	4,169,109	3,912,499
繰延税金資産	511,730	379,353
その他	785,981	474,552
貸倒引当金	△19,791	△21,297
流動資産合計	29,145,924	28,054,695
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,599,926	9,972,269
減価償却累計額	△5,436,982	△5,702,835
建物及び構築物（純額）	4,162,943	4,269,433
機械装置及び運搬具	20,036,676	21,775,222
減価償却累計額	△14,501,886	△15,907,944
機械装置及び運搬具（純額）	5,534,790	5,867,278
工具、器具及び備品	12,553,729	12,690,342
減価償却累計額	△1,866,620	△2,009,308
工具、器具及び備品（純額）	10,687,109	10,681,033
土地	307,992	342,616
建設仮勘定	1,459,869	2,844,782
有形固定資産合計	22,152,705	24,005,145
無形固定資産	93,051	98,761
投資その他の資産		
投資有価証券	4,443,408	5,223,134
長期貸付金	460,000	460,000
繰延税金資産	27,888	25,989
その他	692,359	827,172
投資その他の資産合計	5,623,656	6,536,296
固定資産合計	27,869,413	30,640,202
資産合計	57,015,338	58,694,898

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年10月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年４月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,031,057	2,174,959
短期借入金	6,179,158	6,144,905
未払法人税等	251,055	181,396
繰延税金負債	1,038	7,730
賞与引当金	530,796	400,774
役員賞与引当金	48,422	29,344
未払金	1,018,192	651,040
その他	546,934	821,503
流動負債合計	11,606,654	10,411,655
固定負債		
長期借入金	3,964,912	3,354,661
繰延税金負債	578,589	888,840
退職給付引当金	715,807	728,478
役員退職慰労引当金	169,864	180,033
環境対策引当金	3,725	3,725
資産除去債務	92,949	92,949
その他	5,741	4,790
固定負債合計	5,531,590	5,253,479
負債合計	17,138,244	15,665,134
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,855,000	5,855,000
資本剰余金	7,930,785	7,930,785
利益剰余金	29,567,792	29,494,033
自己株式	△1,549,049	△1,549,049
株主資本合計	41,804,529	41,730,769
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,254,125	1,821,655
為替換算調整勘定	△3,525,373	△928,307
その他の包括利益累計額合計	△2,271,248	893,347
少数株主持分	343,812	405,646
純資産合計	39,877,093	43,029,763
負債純資産合計	57,015,338	58,694,898

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年11月１日 至　平成24年４月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年11月１日 至　平成25年４月30日）
売上高	15,121,920	12,566,143
売上原価	11,383,826	10,702,864
売上総利益	3,738,094	1,863,279
販売費及び一般管理費	2,831,810	2,581,265
営業利益又は営業損失（△）	906,283	△717,986
営業外収益		
受取利息	12,713	14,600
受取配当金	55,004	63,276
受取地代家賃	5,486	5,464
為替差益	263,186	912,952
持分法による投資利益	26,865	43,113
保険返戻金	9,111	21,880
その他	112,864	101,531
営業外収益合計	485,232	1,162,818
営業外費用		
支払利息	40,436	38,366
固定資産除却損	－	11,937
業務委託料	16,964	899
その他	758	7,009
営業外費用合計	58,159	58,212
経常利益	1,333,356	386,619
特別利益		
固定資産売却益	3,625	－
投資有価証券売却益	－	462,569
特別修繕引当金戻入額	143,200	－
特別利益合計	146,825	462,569
特別損失		
固定資産除却損	23,799	－
特別損失合計	23,799	－
税金等調整前四半期純利益	1,456,382	849,188
法人税等	453,882	407,654
少数株主損益調整前四半期純利益	1,002,499	441,534
少数株主利益	29,942	28,783
四半期純利益	972,556	412,751

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年11月１日 至　平成24年４月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年11月１日 至　平成25年４月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,002,499	441,534
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	207,807	567,530
為替換算調整勘定	449,950	2,362,827
持分法適用会社に対する持分相当額	87,072	297,976
その他の包括利益合計	744,830	3,228,334
四半期包括利益	1,747,329	3,669,868
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,706,637	3,577,347
少数株主に係る四半期包括利益	40,692	92,521

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年11月１日 至　平成24年４月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年11月１日 至　平成25年４月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,456,382	849,188
減価償却費	1,014,423	978,200
持分法による投資損益（△は益）	△26,865	△43,113
退職給付引当金の増減額（△は減少）	18,830	11,123
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△11,222	10,168
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△49,726	△26,668
賞与引当金の増減額（△は減少）	△176,164	△153,031
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△775	△2,342
特別修繕引当金の増減額（△は減少）	△140,000	－
投資有価証券売却損益（△は益）	－	△462,569
受取利息及び受取配当金	△67,717	△77,876
支払利息	40,436	38,366
為替差損益（△は益）	△45,228	△50,257
固定資産売却損益（△は益）	△3,625	－
固定資産除却損	23,799	11,937
売上債権の増減額（△は増加）	605,213	3,149,073
たな卸資産の増減額（△は増加）	△847,199	1,116,259
仕入債務の増減額（△は減少）	△963,423	△1,551,812
その他	316,339	△441,751
小計	1,143,475	3,354,894
利息及び配当金の受取額	64,565	82,608
利息の支払額	△44,707	△45,277
保険金の受取額	73,133	－
法人税等の支払額	△348,677	△425,269
営業活動によるキャッシュ・フロー	887,789	2,966,955
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	1,204,345	10,005
定期預金の預入による支出	△10,004	△10,006
投資有価証券の売却による収入	－	915,095
有形固定資産の取得による支出	△735,285	△1,797,759
有形固定資産の売却による収入	4,299	101,939
無形固定資産の取得による支出	△10,680	△20,882
関係会社出資金の払込による支出	△602,659	－
その他	△39,411	△44,810
投資活動によるキャッシュ・フロー	△189,396	△846,419

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年11月１日 至　平成24年４月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年11月１日 至　平成25年４月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	492,000	△36,000
長期借入れによる収入	3,180,000	－
長期借入金の返済による支出	△590,020	△643,002
自己株式の取得による支出	△56	－
配当金の支払額	△485,377	△485,658
その他	△285	△1,879
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,596,260	△1,166,540
現金及び現金同等物に係る換算差額	54,210	406,194
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	3,348,863	1,360,188
現金及び現金同等物の期首残高	4,974,691	7,397,711
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,323,554	8,757,900

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成23年11月１日　至平成24年４月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	光事業	エレクトロニクス事業	合計（注）
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	11,131,595	3,990,325	15,121,920
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－
計	11,131,595	3,990,325	15,121,920
セグメント利益又は損失（△）	974,524	△68,240	906,283

（注）セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成24年11月１日　至平成25年４月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	光事業	エレクトロニクス事業	合計（注）
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	9,672,004	2,894,139	12,566,143
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－
計	9,672,004	2,894,139	12,566,143
セグメント損失（△）	△202,535	△515,451	△717,986

（注）セグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。